

2025年3月27日

TOPPAN ホールディングス株式会社

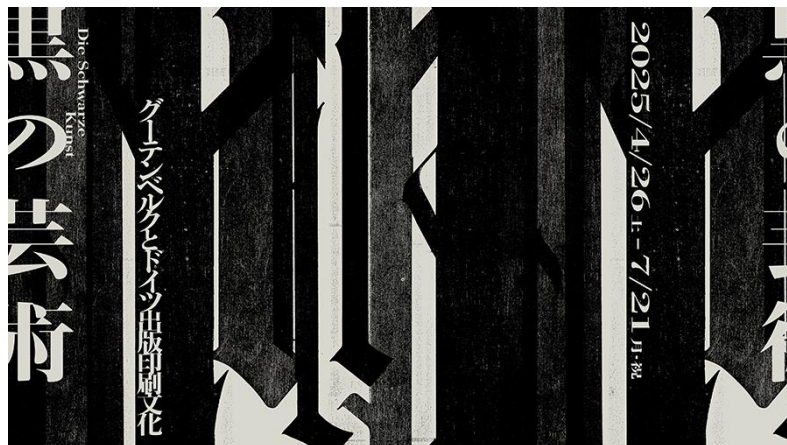
TOPPAN ホールディングス 印刷博物館、
企画展「黒の芸術 グーテンベルクとドイツ出版印刷文化」開催

TOPPAN ホールディングス株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 CEO:磨 秀晴、以下 TOPPAN ホールディングス)が運営する、印刷博物館では、4月26日(土)より「黒の芸術 グーテンベルクとドイツ出版印刷文化」展を開催します。

西洋中世末期の15世紀半ば、ヨハネス・グーテンベルクが活版印刷術を完成させました。この印刷術は、テキストの複製手段が主に手写だったヨーロッパで瞬く間に広がり、以後約500年にわたり、文字印刷の主流であり続けました。

活版印刷術の発祥の地ドイツでは、この活版印刷術に魔術や魔法と同義の「ディ・シュヴァルツェ・クンスト(die schwarze Kunst)」という名称が与えられ、独自の出版印刷文化が形成されました。

本企画展では、今日では過去のものとしてされている活版印刷術と活字書体が国の文化形成に大きく影響を与えてきた様子を、ドイツの出版物を中心とした約70点の展示品とともに紹介します。



©TOPPAN Holdings Inc.

■ 開催概要

会期：2025年4月26日(土)～7月21日(月・祝)

会場：印刷博物館

東京都文京区水道1丁目3番3号 TOPPAN 小石川本社ビル

開館時間：10:00～18:00

休館日：毎週月曜日(5月5日、7月21日は開館)、5月7日(水)

入場料：一般1000円、学生500円、高校生300円

※中学生以下、70歳以上の方、障がい者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方は無料

※20名以上の団体は各50円引き

※2025年5月5日(月・祝)こどもの日は無料

ウェブページ：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/t20250123.php>

主催：TOPPAN ホールディングス株式会社 印刷博物館

協力：グーテンベルク博物館、クリングシュポール博物館、シュテューデル美術館、
広島経済大学図書館、町田市立国際版画美術館

■ 展示内容

・第1部 西洋の印刷術 —複製時代の幕開け—

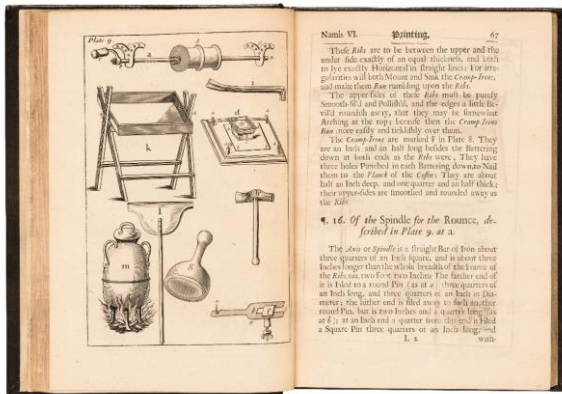
中世末期のヨーロッパにおける「書籍」とは、手書きによる写本を意味しました。西洋式活版印刷術の登場はこの概念を大きく覆します。

可動式活字を組み合わせてテキストを複製する手法はすでにアジアで実践されていましたが、その広がりには限定的でした。15世紀半ば、ドイツの金細工師ヨハネス・グーテンベルクが鉛合金による活字やプレス機を使った、アジアとは異なる活版印刷術を確立しました。

このグーテンベルクの活版印刷術の実用化と普及は、それまでの情報コミュニケーションの在り方を大きく変化させました。



42行聖書(旧約聖書零葉)
グーテンベルク印行、1455年頃
印刷博物館蔵



ジョゼフ・モクソン『メカニック・エクササイズ』
(第2巻) 1683年
広島経済大学図書館蔵

・第2部 情報の伝播 —知の継承から社会変革へ—

活版印刷術は瞬く間にヨーロッパ各地に広がり、グーテンベルクの後継の印刷者によって書籍は洗練されていきます。宗教書や古典作品から始まり、やがて同時代のあらゆる書物が複製され、多くの人の手に行き渡るようになったことで、書物を通じた情報伝播が促進されました。

ニューメディアの浸透により、図版とともに多様な情報が印刷物として明文化・ビジュアル化され、文化や思想の変化を促しました。マルティン・ルターに始まるドイツの宗教改革はその変化の象徴といえます。



フアン・デ・トルケマダ
『瞑想録』1479年
グーテンベルク博物館蔵
Gutenberg Museum, Mainz



アルブレヒト・デューラー
『黙示録』1511年
印刷博物館蔵



グーテンベルク版
ルタードイツ語著作全集(全12巻)
1548~1559年 印刷博物館蔵

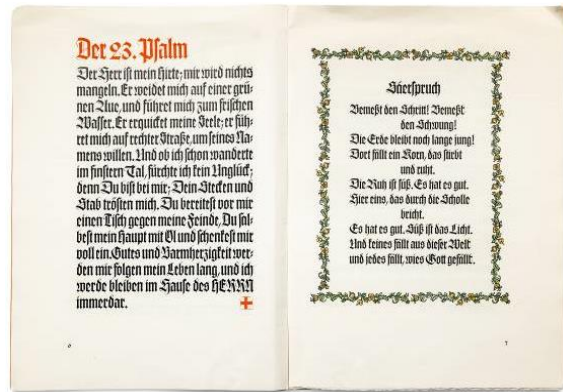
・第3部 書体は語る —活字が背負うナショナルアイデンティティー—

活版印刷術登場後間もなくローマン体と呼ばれる活字書体が登場しますが、ドイツでは、グーテンベルクが聖書印刷に使用したブラックレター(ゴシック体)が20世紀まで出版印刷に常用されました。

時代を経てブラックレターはドイツ文化を象徴する文字となり、やがてナショナリティと結び付けられ政治的な意味を持つようになります。どの書体を標準とすべきか、国家レベルの議論に発展する一方で、ブラックレターは親しみを持てる書体としてドイツの人々に愛され続けました。



メルヒオール・プフィンツィング
『トイアーダנק』(零葉)1517年
町田市立国際版画美術館蔵
会期中展示替えあり



ルドルフ・コッホ
『ウィルヘルム・クリングシュポール・シュリフト』
(活字見本帳)1927年
クリングシュポール博物館蔵
Klingspor Museum, Offenbach am Main

- * 印刷博物館は TOPPAN ホールディングス株式会社が創立 100 周年を記念し、2000 年に設立した公共文化施設です。
- * 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上